

令和4年度 幼保小連携推進地区事業



新石川地区活動報告

美しい森幼稚園・新石川小学校



推進テーマ

子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の連携

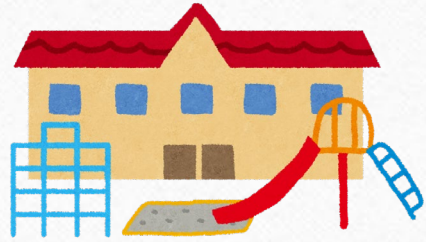
よりよい接続を図るためまず互いを知り合おう

- ・コロナ禍で途絶えてしまっていた行き来のある交流を再開し、
実際に見合うことで、園児や児童の活動の様子を一緒に見合う。
- ・今年是可以る交流を重ね、そこから成果や課題を共有していく。

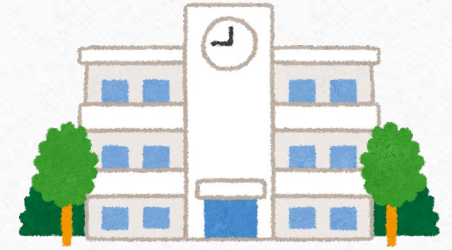
1年生のスタートカリキュラムって？

幼稚園の一日って？

どんな交流ができるかな？



今年度の推進内容

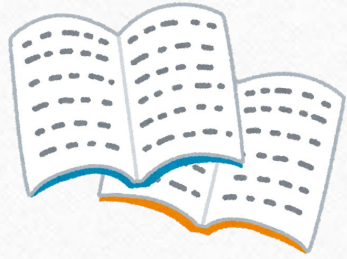


- 幼保小連携推進委員会をもち、推進テーマの確認をし、年間計画を立てる。
- 幼保小連携推進委員会を重ね、交流を通して職員同士の関係をつくる。
- 園児・児童の交流を重ねる。
- 研修内容を生かした保育参観、授業参観、授業研究会を行う。
- 成果と課題をまとめ、次年度の推進計画へ生かす。

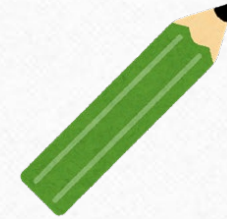
【重点課題】

・顔の見える関係づくり

・子ども主体な交流にする



活動の概要



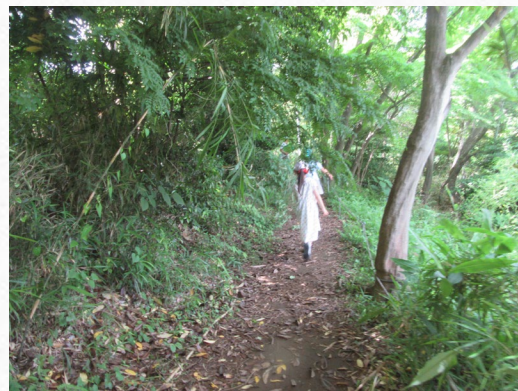
- 第1回推進委員会(5月11日)
 - 小学校授業参観(5月20日)
 - 第1回交流会(美しの森幼稚園へ)
 - 保育参観(8月24日)
 - 第2回推進委員会(10月26日)
 - 第2回交流会(新石川小学校へ)
 - 小学校授業研究会(2月3日)
 - 第3回交流会(3月)
 - 第3回推進委員会(2月27日)
- 顔合わせ、活動計画・内容の確認
幼稚園の先生が小学校へ
幼稚園でフィールドビンゴ
小学校の先生が幼稚園へ
あきまつり会の交流に向けての確認
「あきまつり会へようこそ」
1年生の学びや育ちを共有
小学校の紹介動画送付
今年度の反省、来年度へ向けて



第1回交流会

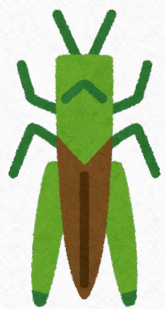
美しい森をいっしょにたんけん①

1年生が幼稚園を訪問、いっしょにフィールドビンゴにチャレンジ！



とても広い園庭と森に、
1年生はわくわく！！
園児さんがいろいろ
教えてくれました。





第1回交流会

美しい森をいっしょにたんけん②



あいさつをして、ペアと「こんにちは」 わくわくするね！



ビンゴをしたら、スタンプを
押してもらえます。
「いろいろ見つけたよ！」



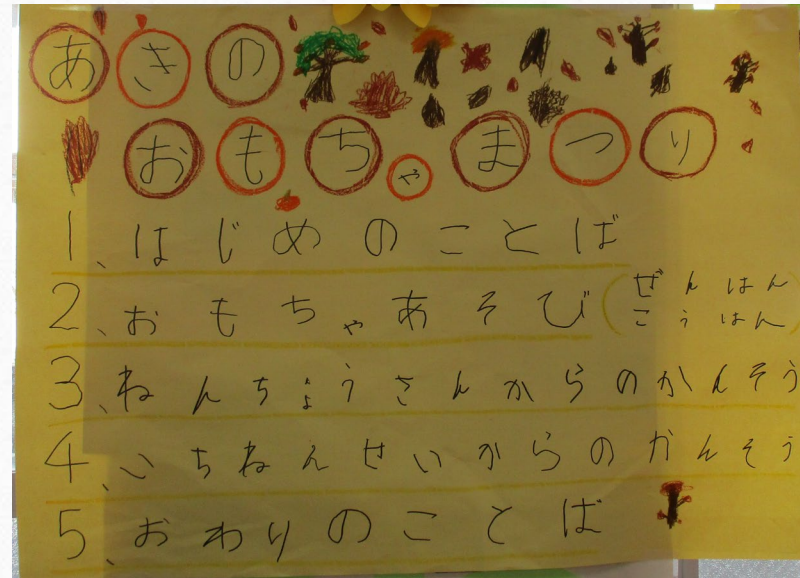
第2回交流会

あきまつりでいっしょにあそぼう①

小学校へようこそ！きょうはお店やさんを楽しんでほしいな！



実行委員の1年生が進行をしました。
「またあえてうれしいね！！」





第2回交流会

あきまつりでいっしょにあそぼう②



おにいさん、おねえさんたちがやさしいな、うれしいな！



こま、おみくじ、ボーリングなど、秋のものを使ったおもちゃを年長さんのために考えました。

「いっしょうけんめいじゅんびしてきたおもちゃで、たのしくあそんでくれてうれしいな。」
「むずかしいものは、いっしょにてつだってあげよう！」



あきまつり交流後の様子 今後の予定(2~3月)



年長さんからお礼のメッセージをいただき、廊下を通るたびにうれしそうにメッセージを読む子どもたちの姿が見られました。あきまつりを経て、自己有用感の高まりを感じました。

【今後の予定(2~3月)】

- 研究授業参観(2月3日)
- 小学校の様子がわかる「紹介動画」を送る(3月)



実行委員を立て、計画を進めます。自分たちの1年前を振り返り、学校のどんな場所を紹介すれば、安心して入学できるか、みんなで考え、動画にまとめます。

保育参観(8月)

小学校の職員が幼稚園の様子を参観しました



全身で泥んこ遊び！
自分が遊びたいように
遊ぶ姿が印象的でした。

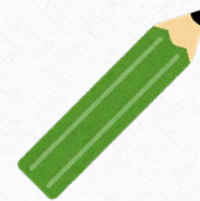


帰りの時間は落ち着いて、
手遊びを取り入れながら…。
園での動と静の様子を
よく知ることができました。





推進委員会



5月11日、10月26日、2月27日(予定)の3回の推進委員会を開催



会の初めにはテーマトークをするなどして親睦を深めました。

- ・幼稚園の教育方針は園によってここまで大きく違うことを実感した。
- ・美しの森幼稚園は、大きな敷地や森を生かした教育をしている。
- ・様々な園から小学校に入学したときの変化は大きいから、接続期はとても大切。
- ・幼保と小をつなぐスタートカリやアプローチカリについて考えていく必要がある。



成果と課題



<成果>

- ◎ここ数年、コロナ禍で外部との交流がほぼできなかったが、推進地区のおかげで、早い段階で子ども同士の対面での交流を行うことができた。
- ◎1年間を通して交流を重ね、職員同士、児童園児同士が知り合うことができた。回数を重ねるごとに気軽に話し合える雰囲気のできたので、来年度以降もこの関係をさらに深めていきたい。
- ◎幼稚園での姿、小学校での授業の姿など、それぞれの子どもの姿を職員が参観を通して知ることができた。
- ◎園児が小学校のイメージを具体的に思い描くことができるようになり、安心感につながった。

<課題>

- ◎幼児期の終わりまでに育ってほしい姿については小学校がもっと理解をする必要がある。
- ◎架け橋期（接続期）を意識し、幼稚園であそびを通して育った資質・能力を、小学校で教科の学びを通じた育ちにつなげるための、具体的な活動を実践し、検証する必要がある。
- ◎今年度は課題というものはっきり定めてはいなかった。希薄になっていたものを再開するためにはじめの一步の年だった。来年度は、チェック項目を作成するなどし、最終目標を明確化するとよい。
- ◎1年生だけでなく、他学年（例えば5年生）と交流できる機会を設けたい。